Technics®

写真はシルバー色の製品です。

取扱説明書

DJ ミキサー

品番 **SH-MZ1200**

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、DJ ミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4～5ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT7229-2S

主な特長

ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルSL-DZ1200（別売り）との接続・連携を可能にし、新しい演奏性を提供する4チャンネル汎用タイプ、DJ指向のDJ ミキサーです。

充実の基本性能

■充実した入出力

- CD/LINE－2系統、LINE－3系統、PHONO－3系統、マイク－2系統、デジタル－2系統の12入力を用意しました。
- プロ仕様のキャノン端子を含むマスター出力1、2の3系統とヘッドホンのほか、モニター出力、録音出力、デジタル出力を独立して装備。
- さらに外部エフェクターに対してもEFFECT SEND、EFFECT RETURN端子を設けました。

■あらゆるサウンド・ソースに対応し、3バンドイコライザーを搭載

- 各チャンネルにHIGH、MID、LOWのイコライザーを搭載。減衰量を－24 dB（12 dB/oct）と大きく設定していますので、多様な音創りが可能です。

■プレイ操作に対応し、充実したモニター

- 各チャンネルとエフェクトにCUEボタンを装備したことで、聴きたいチャンネルが即座にモニターできます。
- MONITOR MIXINGつまみによりCUEボタンで選択したチャンネルとマスター出力のミキシングができ、MONO SPLIT MODEによりCUEボタンで選択したチャンネルとマスター出力を左右に振り分けてモニターすることが可能になりました。

■外部エフェクターにも対応

- SEND、RETURNのレベルコントロールとPRE/POST切換および各チャンネルごとのEFFECTオン、オフが可能です。

■操作性と堅牢性を追求したデジタルコントロールのフェーダー部

- クロスフェーダーにC. FADER CURVE選択つまみを搭載したことで3種類のカーブ設定ができ、多様なクロスフェードが可能になりました。
- 各チャンネルフェーダー、クロスフェーダーにリバース設定つまみを設けました。
- マイコンによるVCA制御を採用していますので、音質劣化の少ないチャンネルフェーダー、クロスフェーダーの音量コントロールができます。
- 高い耐久性と滑らかな操作感を実現した45 mmストロークのフェーダーと、光方式クロスフェーダー回路を採用することによりクロスフェーダーの信頼性を向上させています。

チャンネルフェーダー、クロスフェーダーによる新しい演奏性を提供

■チャンネルフェーダーによるL、R分割コントロール

- PLAY MODE機能の搭載で選択されたチャンネルのL、Rを分割し、チャンネルフェーダーによるL、R個別の音量コントロールを可能にしました。

■マスター1、2の2系統出力で出力先（フロント、リア）をコントロール

- SEPARATE OUT機能をオンにすると、CH1およびCH2をフロントへCH3およびCH4をリアへ分割して出力することができ、L、R分割調整機能と組み合わせて音場をコントロールする新しい演奏が可能となりました。

ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルとの接続・連携プレイ

■フェーダー操作でデジタルターンテーブルをリアルタイムにスタート、ストップ制御

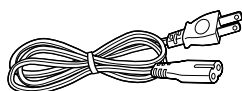
- ミニコードでデジタルターンテーブルを接続し、チャンネルフェーダー操作またはクロスフェーダー操作でデジタルターンテーブルをスタート、ストップできます。
- 2系統のデジタル入力により、デジタルターンテーブルを最大2台デジタルで直結できます。

もくじ／付属品

もくじ

付属品

まず最初に付属品を確かめてください。
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番を表します。

□ 電源コード……………………………1 本
（品番：K2CA2CA00019）

お願い
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

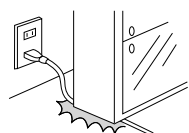
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

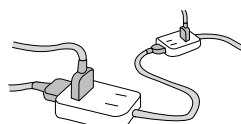
電源コードについて

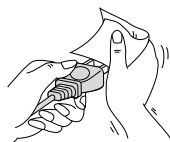
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

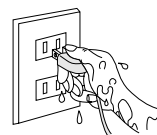
- 差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

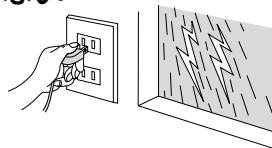
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

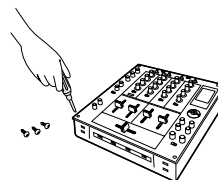
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

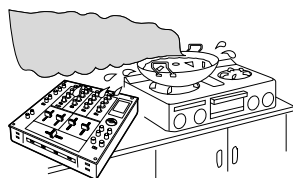
⚠注意

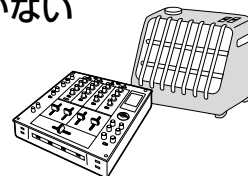
設置について

不安定な場所に設置しない

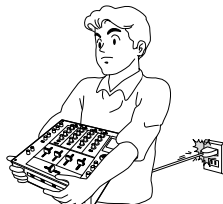
- 上に大きなもの、重いものを載せない
- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

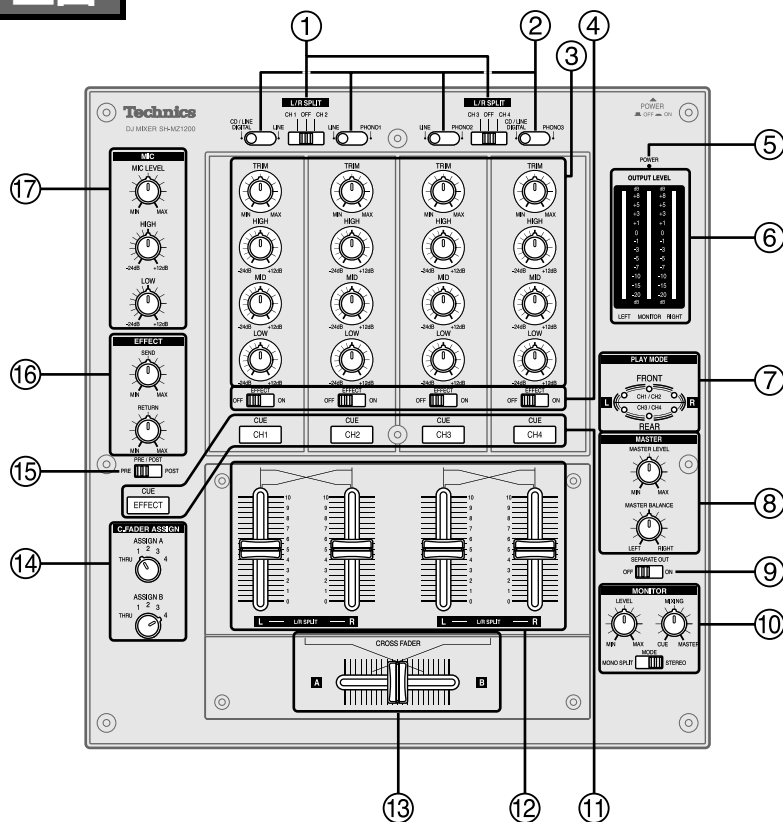
- 機器が破損してけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

各部のなまえ

①などの数字はイラスト番号、❿などの数字は参照ページです。

本体上面

①L/R SPLIT（左右分割調整入力選択）つまみ …❿⓭

②入力切換（CH1～CH4）つまみ ……………………❿
CD/LINE DIGITAL：
CDまたはライン入力、デジタル入力
LINE：ライン入力
PHONO 1～3：ターンテーブルフォノ入力

③入力コントロール（CH1～CH4）つまみ ………❿
TRIM（レベル調節）つまみ
HIGH（高域音質調節）つまみ
MID（中域音質調節）つまみ
LOW（低域音質調節）つまみ

④EFFECT（CH1～CH4接続切換）つまみ ………⓬

⑤POWER（通電）ランプ ……………………………❿

⑥OUTPUT LEVELメーター ………………………❿⓬

⑦PLAY MODEランプ ………………………………⓭

⑧MASTER出力コントロールつまみ ………………❿
MASTER LEVEL（音量調節）つまみ
MASTER BALANCE（調節）つまみ

⑨SEPARATE OUT（ON、OFF切換）つまみ ……⓭

⑩MONITORコントロールつまみ …………………⓬
LEVEL（音量調節）つまみ
MIXING（調節）つまみ
MODE（モニター切換）つまみ

⑪CUE（モニター選択）ボタン・表示ランプ ………⓬
CH1～CH4：CH1～CH4のモニター選択
EFFECT：エフェクターのモニター選択

⑫チャンネルフェーダー（CH1～CH4）………❿⓮

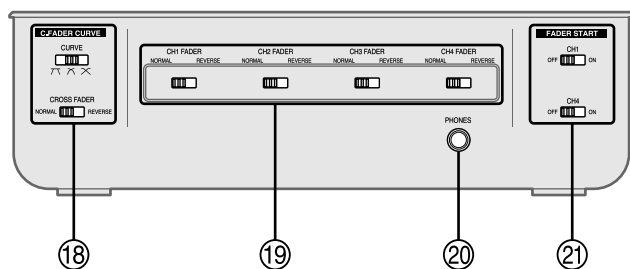
⑬CROSS FADER……………………………………❿⓮

⑭C．FADER ASSIGN A、B（選択）つまみ …❿⓮

⑮PRE/POST（エフェクター出力切換）つまみ …⓬

⑯EFFECT（入出力調節）つまみ …………………⓬
SEND（出力調節）つまみ
RETURN（入力調節）つまみ

⑰MIC入力コントロールつまみ ……………………⓫
MIC LEVEL（音量調節）つまみ
HIGH（高域音質調節）つまみ
LOW（低域音質調節）つまみ

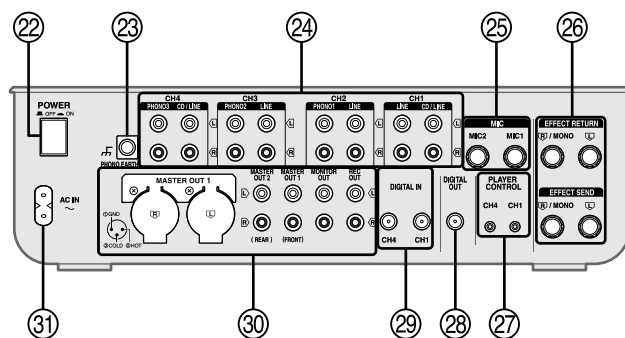
本体前面

⑱C．FADER CURVEコントロールつまみ ……❿⓫
CURVE（選択）つまみ
CROSS FADER（操作切換）つまみ

⑲CH1～CH4 FADER（操作切換）つまみ ………❿

⑳PHONES（ヘッドホン）端子 ……………………❽

㉑FADER START（ON、OFF切換）つまみ………⓮

本体後面

㉒POWER（電源）▬ OFF ▬ ONボタン …………❿

㉓PHONO EARTH（ターンテーブルアース）端子 …❾

㉔CH1～CH4（入力）端子 ………………………❾
CD/LINE：CDまたはライン端子
LINE：ライン端子
PHONO 1～3：ターンテーブルフォノ端子

㉕MIC1～MIC2（入力）端子 ……………………❾

㉖ EFFECT RETURN、EFFECT SEND
（エフェクター入出力）端子…………………………❽

㉗PLAYER CONTROL（CH1、CH4）端子 ……❾

㉘DIGITAL OUT（出力）端子 ……………………❽

㉙DIGITAL IN（CH1、CH4入力）端子 …………❾

㉚出力端子 ……………………………………………❽
MASTER OUT 1、2端子
MONITOR OUT端子
REC OUT端子

㉛AC IN ～（電源入力）端子……………………………❾

接続

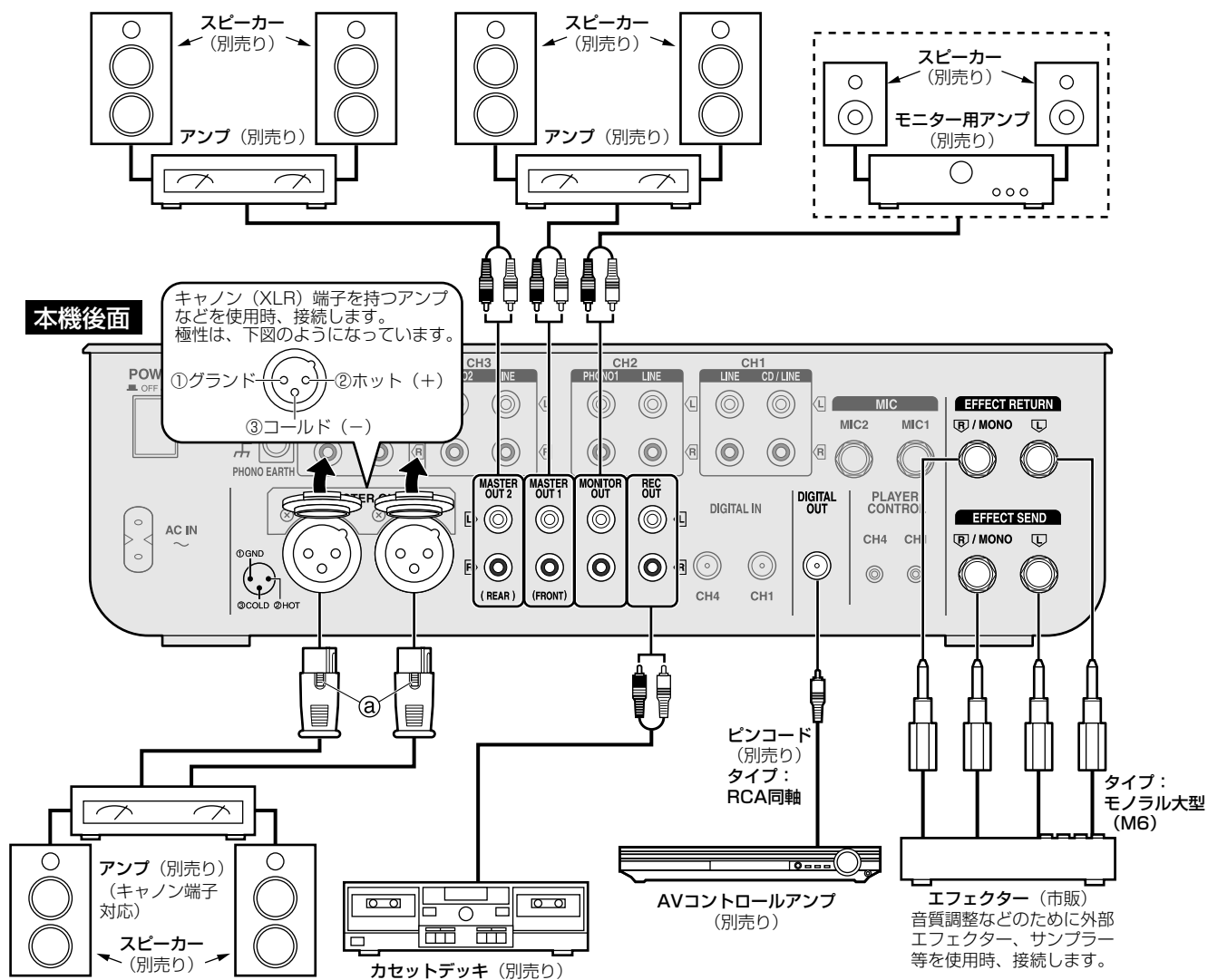
出力側の接続

ステレオピンコード、ピンコード（各、別売り）および機器に適合したコードで本機と各機器を接続します。
接続時には必ず各機器の電源を切ってください。

ステレオピンコードの接続は
白色は左（L）端子へ
赤色は右（R）端子へ

本機後面

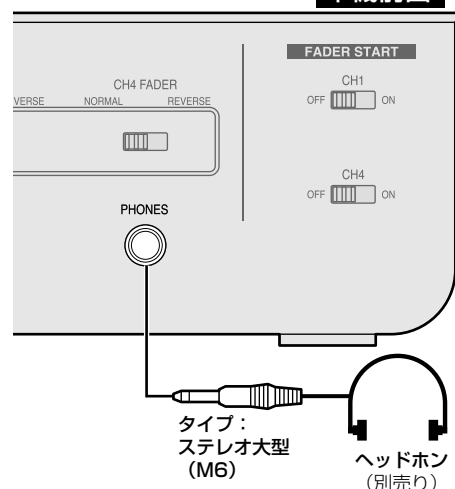
キャノン（XLR）端子を持つアンプなどを使用時、接続します。
極性は、下図のようになっています。
①グランド ②ホット（＋） ③コールド（－）

スピーカー（別売り）
アンプ（別売り）
モニター用アンプ（別売り）
ピンコード（別売り）
タイプ：RCA同軸
タイプ：モノラル大型（M6）
アンプ（別売り）（キャノン端子対応）
カセットデッキ（別売り）
AVコントロールアンプ（別売り）
エフェクター（市販）
音質調整などのために外部エフェクター、サンプラー等を使用時、接続します。

■キャノン（XLR）端子へ接続するには
- キャノン（XLR）端子のフタを開け、端子の極性に合わせてキャノン（XLR）プラグ（市販）をロックするまで差し込んでください。
- 取り外すときは、キャノン（XLR）プラグの上のノブ ⓐ を押して抜いてください。
- 取り外したあとキャノン（XLR）端子のフタは、中央部を押してしっかり閉めてください。

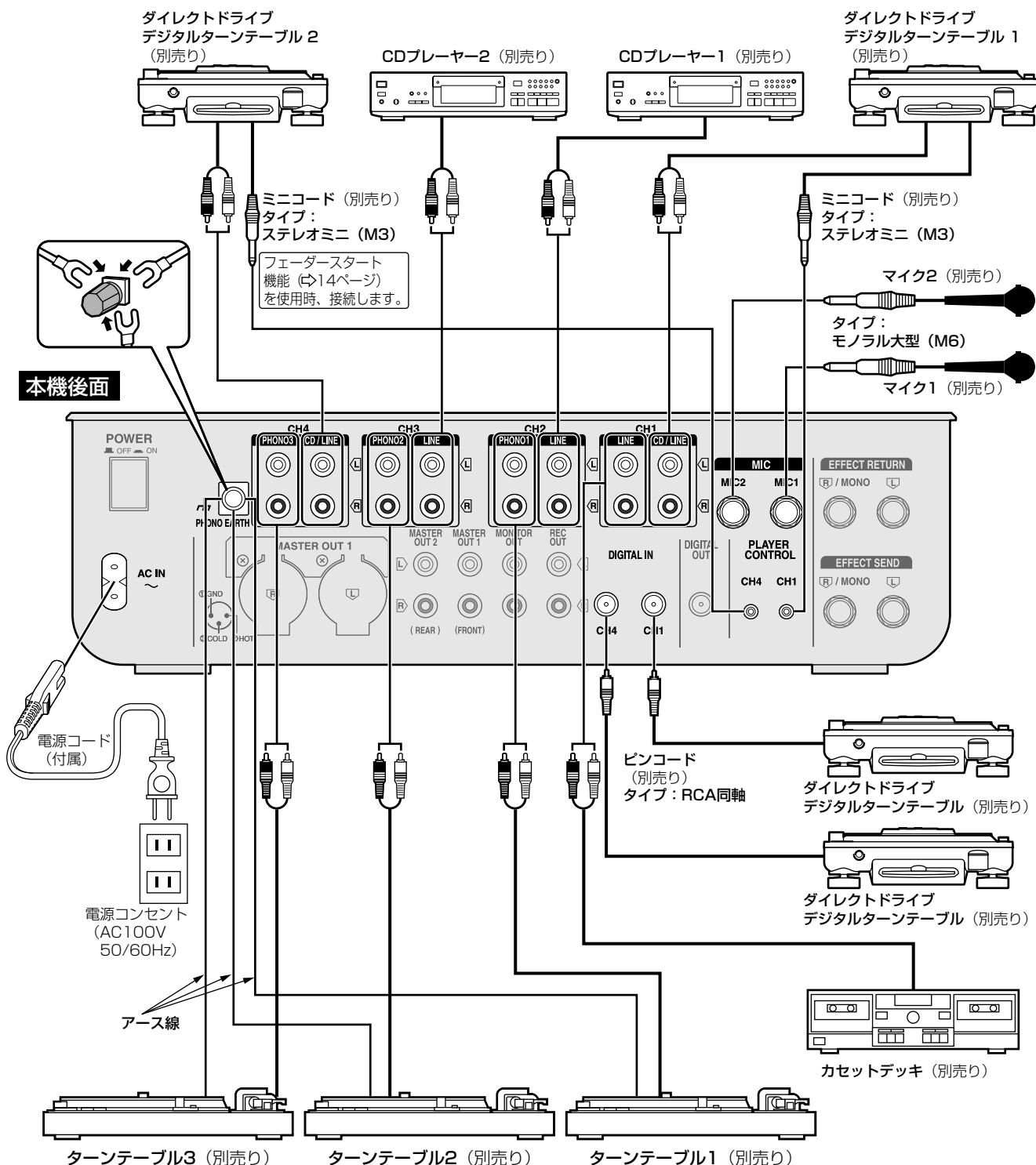
■モノラル入力のエフェクターを使用するときは
- R/MONO端子に接続します。
- エフェクターには左（L）と右（R）のミックスされた信号が出力され、エフェクターからの信号は左（L）と右（R）両方の信号が入力されます。

■ヘッドホンで聞くときは
- MONITOR LEVELつまみなどで、必ず音量を絞ってから接続してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

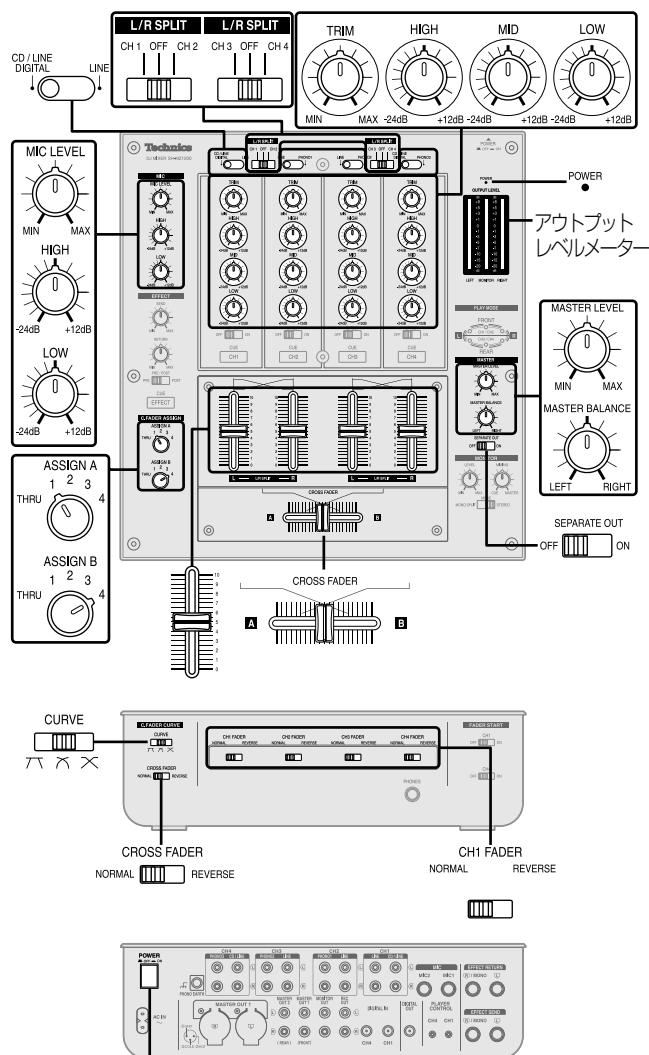
本機前面

お知らせ
関連する別売り品の一部は裏表紙の「別売り品のご紹介」をご参照ください。

入力側の接続

ステレオピンコード、ミニコードおよびピンコード（各、別売り）で本機と各機器を接続します。
電源コードの接続は、全ての接続が終わった後に行ってください。
本機の電源コード用接続端子（AC IN ～）は後面の左側にあり、縦に接続する仕様になっています。図のように正しく接続してください。

本機後面のPLAYER CONTROL端子への接続は
別売りのダイレクトドライブ デジタルターンテーブルに限り動作ができます。
他社製品のCONTROL端子と接続した場合、正常に動作しない、または機器が故障することがあります。

お知らせ

アース端子およびアース線のないターンテーブルの場合、アース線の接続は不要です。

ミキシングする（基本の操作）

電源を入れる

POWER

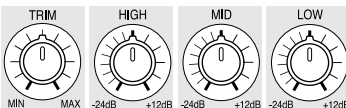
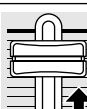
を押す

電源が入り、POWERランプが点灯します。

1 を切り換えて、OFFにする

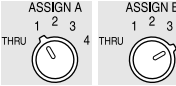
2 SEPARATE OUT を切り換えて、OFFにする

CH1入力の場合

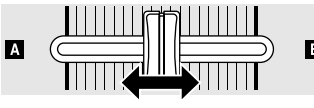
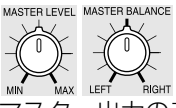
3 CD / LINE DIGITAL を切り換えて、ソースを選ぶ

4 TRIM HIGH MID LOW を回して、入力信号レベル、音質を調節する

5 を動かして、音量を調節する

CH2～CH4のソースを選択し、音量、音質を調整する

（上記手順3～5）

6 クロスフェーダー使用時

ASSIGN A ASSIGN B を回して、A、Bに割り当てる入力チャンネルを選ぶ

7 クロスフェーダー使用時

を動かして、ミックス量を調節する

8 MASTER LEVEL MASTER BALANCE を回して、音量、バランスを調節する

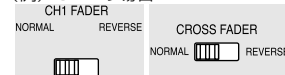
マスター出力の音量および左（L）と右（R）の出力バランスを調節します。

■アウトプットレベルメーターの表示について

- 選択したCH1～CH4のミックスされた左（L）と右（R）の音量レベルがアウトプットレベルメーターのLEFTとRIGHTに表示されます。
  表示範囲：−20～+8 dB
- MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもアウトプットレベルメーターの表示は変わりません。

■チャンネルフェーダーおよびクロスフェーダーの操作方法を変える

チャンネルフェーダーの場合は各チャンネルの操作切換つまみを切り換えます。

(例) CH1の場合

CH1 FADER NORMAL REVERSE / CROSS FADER NORMAL REVERSE を切り換える

NORMAL　：パネル表示の通りの操作
REVERSE　：パネル表示と逆の操作

CH1またはCH2、CH3またはCH4を選択すると、プレイモードの左（L）と右（R）入力の分割機能（⇨13ページ）となります。

ONにすると、プレイモードのSEPARATE OUT機能（⇨13ページ）となります。

CH1とCH4のCD/LINE DIGITALを選ぶと、入力がアナログ（CD/LINEのCH1、CH4入力端子）、デジタル（DIGITAL INのCH1、CH4入力端子）のいずれも入力できます。

TRIM（トリム）：入力信号のレベルを調整します。
右に回すとレベルが上がります。（約＋8 dBまで）
左に回すとレベルが下がります。（約－8 dBまで）
HIGH（ハイ）：入力音の高音を調整します。
センタークリックの位置でフラットです。
右に回すと増加します。（10 kHzで約＋12 dBまで）
左に回すと減衰します。（10 kHzで約－24 dBまで）
MID（ミッド）：入力音の中音を調整します。
センタークリックの位置でフラットです。
右に回すと増加します。（1 kHzで約＋12 dBまで）
左に回すと減衰します。（1 kHzで約－24 dBまで）
LOW（ロー）：入力音の低音を調整します。
センタークリックの位置でフラットです。
右に回すと増加します。（50 Hzで約＋12 dBまで）
左に回すと減衰します。（50 Hzで約－24 dBまで）

- **ASSIGN AとASSIGN Bつまみは異なる入力チャンネルを選んでください。**
  同じ入力チャンネルを選ぶと、クロスフェーダーを動かしても音量は変化しません。
- ASSIGN Aは A に、ASSIGN Bは B に割り当てられます。割り当てたチャンネル以外は、クロスフェーダーを通らずに出力されます。

1〜4　：割り当てるCH1〜CH4
THRU　：クロスフェーダーを使用しないとき

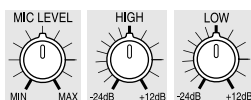
A および B に割り当てたソース音は、クロスフェーダーの位置でミックス量が調節されます。

- 選択したCH1〜CH4の入力ソース音がミックスされ、MASTER OUT 1の左（L）と右（R）端子に出力されます。
- MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもREC OUTおよびDIGITAL OUTの出力は変わりません。

■クロスフェーダーカーブを変える

クロスフェーダーの立ち上がりカーブを3種類の中から選びます。

を切り換える

マイクを使う

を回して、音量、音質を調節する

MIC1とMIC2端子に接続したマイクの音量および音質を調節します。

MIC LEVEL（マイクレベル）：マイクの音量を調整します。
（減衰量：－∞〜0 dB）
HIGH（ハイ）：マイク音の高音を調整します。
センタークリックの位置でフラットです。
右に回すと増加します。（10 kHzで約＋12 dBまで）
左に回すと減衰します。（10 kHzで約－24 dBまで）
LOW（ロー）：マイク音の低音を調整します。
センタークリックの位置でフラットです。
右に回すと増加します。（100 Hzで約＋12 dBまで）
左に回すと減衰します。（100 Hzで約－24 dBまで）

- MIC1とMIC2の音量はミックスされ、MASTER OUT 1の左（L）と右（R）端子に出力されます。

外部の機器で録音、再生する

接続した機器を録音または再生操作する

REC OUT端子
MASTER OUT 1端子と同じソースが出力されます。

DIGITAL OUT端子
MASTER OUT 1端子と同じソースのデジタル信号が出力されます。

MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもREC OUTおよびDIGITAL OUTの出力は変わらず、録音または再生には影響しません。

お知らせ

本機に使用しているチャンネルフェーダーやクロスフェーダーは、高寿命設計となっていますが、使用方法によっては（Hip-Hopのトランスファープレイなど高速で頻繁に操作したような場合）、交換する必要が生じる場合があります。

- **チャンネルフェーダーやクロスフェーダーを交換する際は販売店にご相談ください。**
- **ご販売店様へ**
  交換部品には「フェーダー交換説明書」を添付しています。
  交換部品品番
  チャンネルフェーダー（品番：REP3743A-S）
  クロスフェーダー（品番：REP3742A-S）

ミキシングの補助操作をする

エフェクトを調整する

外部エフェクターを使用時、エフェクターへの出力切り換えと音量レベル調整をします。

エフェクト出力するチャンネルの

1 EFFECT OFF ON **をONにする**

外部エフェクターに出力されます。

2 PRE / POST PRE POST **を切り換えて、出力するポイントを選ぶ**

PRE　：チャンネルフェーダーの前で出力
POST　：チャンネルフェーダーの後で出力

3 SEND MIN MAX **を回して、出力レベルを調節する**

外部エフェクターへの出力音量レベルを調節します。

4 RETURN MIN MAX **を回して、入力レベルを調節する**

外部エフェクターからの入力音量レベルを調節します。

- 入力ソース音がエフェクトされ、MASTER OUT 1端子へ出力されます。

■セパレート（2系統）出力時は

セパレート（2系統）出力（⇨13ページ）をしているときは、MASTER OUT 2（REAR）端子へ出力されます。

モニターを調整する

プレイ中にモニター音を出して、ヘッドホンなどでミキシングしたいチャンネルの頭出し、音量調整やミキシング音の確認ができます。

モニターするチャンネルがCH1の場合

1 CUE CH1 **を押して、モニター音を出す**

- 押したCUEボタンの表示ランプが点灯します。
- PHONES（ヘッドホン）およびMONITOR OUT端子にCUEボタンで選択したチャンネルのモニター音が出ます。
- 複数のCUEボタンを押すとミックスした音が出ます。

エフェクター使用時（⇨左コラム）

CUE EFFECT **を押して、モニター音を出す**

- EFFECT RETURN出力がモニターできます。

2 入力を選び、入力のレベル、音質およびチャンネルフェーダー、クロスフェーダーで音量を調節する

（⇨「ミキシングする」（10ページ）手順3～7）

3 MIXING CUE MASTER **を回して、ミキシング調節する**

- 右いっぱいに回すとマスター出力の音声になります。
- 左いっぱいに回すとCUEボタンで選択したチャンネルの音声になります。
- 中央の位置でマスター出力とCUEボタンで選択したチャンネルの音声のレベルが半々になります。
- モニター音量レベルがアウトプットレベルメーターのMONITORに表示されます。

4 MODE MONO SPLIT STEREO **を切り換えて、モニター音の振り分けを選ぶ**

モニター音をステレオにするか、CUEボタンで選択したチャンネルを左（L）にマスター出力を右（R）に振り分けるかを選択します。

MONO SPLITにするとモニター出力はモノラルになり、左（L）側はCUEボタンで選択したチャンネルの音声、右（R）側はマスター出力されている音声になります。

5

を回して、モニター音量を調節する

- MASTER LEVELおよびMASTER BALANCEを変えてもモニター音は変わりません。

プレイモード機能を使う

左（L）、右（R）入力を分割調整する

プレイモード機能で、選択したチャンネルの左（L）と右（R）の入力を分割し、音量と音質を左（L）と右（R）の入力ごとに調整ができます。

1 L/R SPLIT（CH 1 OFF CH 2）L/R SPLIT（CH 3 OFF CH 4）を切り換えて、分割調整するチャンネルを選ぶ

選択したチャンネルの入力が、パネル上の調整するチャンネルに割り当てられます。

CH1またはCH2入力：
左（L）の入力がパネル上のCH1に、右（R）の入力がパネル上のCH2に。

CH3またはCH4入力：
左（L）の入力がパネル上のCH3に、右（R）の入力がパネル上のCH4に。

- 選択したチャンネルのプレイモードランプLとRが点灯します。
- OFFを選択すると分割せずに、両方のチャンネル入力となります。プレイモードランプLとRは点灯しません。

2 左（L）および右（R）入力のレベル、音質とチャンネルフェーダーで音量を調節する

（⇨「ミキシングする」（10ページ）手順4～5）

CH1またはCH2のレベル、音質、チャンネルフェーダー調節
左（L）の入力：パネル上のCH1の各つまみを使用
右（R）の入力：パネル上のCH2の各つまみを使用

CH3またはCH4のレベル、音質、チャンネルフェーダー調節
左（L）の入力：パネル上のCH3の各つまみを使用
右（R）の入力：パネル上のCH4の各つまみを使用

- MASTER OUT 1の左（L）と右（R）端子からミックスされたソース音が出力されます。

■クロスフェーダーを使うには

⇨「ミキシングする」（10ページ）手順6～7を行う

- ASSIGN AおよびASSIGN Bつまみは、上記手順1で選択したチャンネルに合わせてください。

■マスター出力の音量、バランスを調節するには

⇨「ミキシングする」（10ページ）手順8を行う

セパレート（2系統）出力する

SEPARATE OUT機能をオンにすると、MASTER OUT 1（FRONT）と、MASTER OUT 2（REAR）へ2系統出力することができます。左右分割調整やクロスフェーダーを使うとリアルタイムな演出ができます。

（例）MASTER OUT 1（FRONT）端子：フロントスピーカー用

MASTER OUT 2（REAR）端子：リアスピーカー用

SEPARATE OUT（OFF ON）をONにする

- CH1とCH2の入力がMASTER OUT 1（FRONT）端子とMASTER OUT 1（XLR）端子に出力されます。
- CH3とCH4の入力がMASTER OUT 2（REAR）端子に出力されます。
- プレイモードランプのFRONTとREARが点灯します。

■クロスフェーダーを使うと

⇨「ミキシングする」（10ページ）手順6～7を行う

クロスフェーダー操作切換つまみがNORMALのとき
ASSIGN A：1または2、ASSIGN B：3または4のとき

クロスフェーダーA側いっぱい：
Aに割り当てたソース音のみMASTER OUT 1（FRONT）とMASTER OUT 1（XLR）の左（L）と右（R）端子から出力されます。

クロスフェーダーB側いっぱい：
Bに割り当てたソース音のみMASTER OUT 2（REAR）の左（L）と右（R）端子から出力されます。

クロスフェーダー中間位置：
Aに割り当てたソース音はMASTER OUT 1（FRONT）端子とMASTER OUT 1（XLR）端子から、Bに割り当てたソース音はMASTER OUT 2（REAR）端子から出力されます。

■入力のレベル、音質とチャンネルフェーダーで音量を調整するには

⇨「ミキシングする」（10ページ）手順4～5を行う

■マスター出力の音量、バランスを調整するには

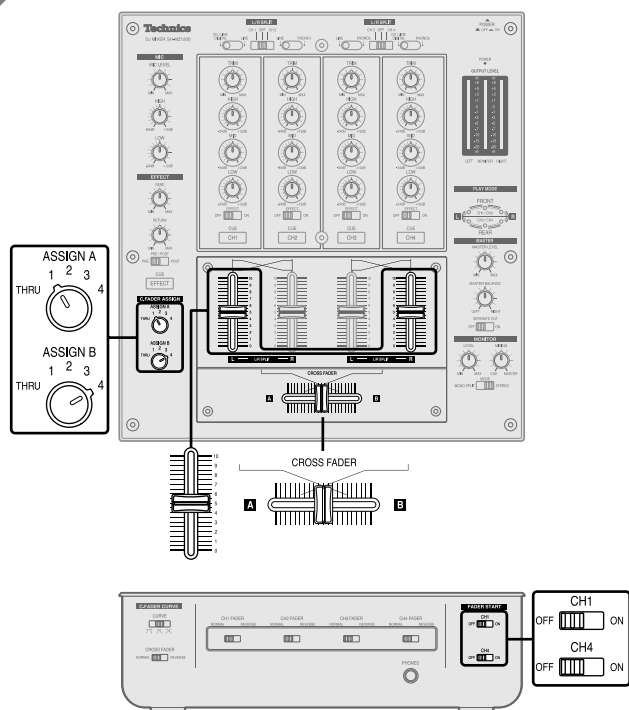
⇨「ミキシングする」（10ページ）手順8を行う

MASTER OUT 1（FRONT）とMASTER OUT 1（XLR）およびMASTER OUT 2（REAR）出力の音量、左（L）と右（R）のバランスを調節します。

■左（L）、右（R）入力を分割調整するには

⇨左記手順1～2を行う

フェーダースタート機能を使う

別売りのダイレクトドライブ デジタルターンテーブル（SL-DZ1200）をCH1およびCH4に接続すると、チャンネルフェーダーやクロスフェーダーでデジタルターンテーブルの演奏をスタートすることができます。（ミニコードの接続が必要です。⇨9ページ）

準備：
- CH1およびCH4に接続したデジタルターンテーブル後面のMODE切換つまみをTURNTABLEにする
- CH1およびCH4に接続したデジタルターンテーブルにオートキューポイントまたはキューポイントを設定し、設定ポイントでスタンバイさせる

チャンネルフェーダーでスタートする

チャンネルフェーダー操作切換つまみがNORMALで、制御したいデジタルターンテーブルをCH1に接続した場合

- 左（L）、右（R）の入力分割（⇨13ページ）のときは、パネル上のCH1とCH2のチャンネルフェーダーで同時に下記の操作を行います。

1 ASSIGN A（THRU 1 2 3 4）を切り換えて、1以外を選ぶ

- 1が選択されていると、チャンネルフェーダースタートができません。

2 （フェーダー 4 3 2 1 0）を下へいっぱいに絞る

3 FADER START CH1 OFF ON をONにする

4 （フェーダー）をスタートしたいタイミングで上げる

- 同時にデジタルターンテーブルが再生を始めます。

デジタルターンテーブルが再生開始後にチャンネルフェーダーを元の位置に戻すと、デジタルターンテーブルは設定ポイントに戻りスタンバイします。

クロスフェーダーでスタートする

クロスフェーダー操作切換つまみがNORMALで、制御したいデジタルターンテーブルをCH1に接続した場合

1 ASSIGN A（THRU 1 2 3 4）を切り換えて、1を選ぶ

2 （クロスフェーダー B）をスタートさせたいソースとは逆（B）の方向へいっぱいに絞る

3 FADER START CH1 OFF ON をONにする

4 （クロスフェーダー B）をスタートしたいタイミングで手順2と反対方向へスライドさせる

- 同時にデジタルターンテーブルが再生を始めます。

デジタルターンテーブルが再生開始後にクロスフェーダーを元の位置に戻すと、デジタルターンテーブルは設定ポイントに戻りスタンバイします。

■CH1とCH4のデジタルターンテーブルを交互にスタートする

クロスフェーダー操作切換つまみがNORMALの場合

1 ASSIGN A、ASSIGN B（THRU 1 2 3 4）を切り換えて、ASSIGN Aは1を、ASSIGN Bは4を選ぶ

2 （クロスフェーダー B）をスタートさせたいソースとは逆（B）の方向へいっぱいに絞る

3 FADER START CH1 OFF ON、CH4 OFF ON をONにする

4 （クロスフェーダー A）をスタートしたいタイミングで手順2と反対方向（A）へいっぱいに絞る

- CH1のデジタルターンテーブルが同時に再生を始めます。（CH4のデジタルターンテーブルが再生している場合は同時に設定ポイントに戻ります）

5 （クロスフェーダー B）を手順4と反対方向（B）へいっぱいに絞る

- CH4のデジタルターンテーブルが同時に再生を始めます。
- CH1のデジタルターンテーブルは同時に設定ポイントに戻ります。

（お知らせ）

フェーダースタートの動作中に本機の電源を切、入すると、デジタルターンテーブルがストップまたはスタートすることがあります。

ブロックダイヤグラム

CH1
DIGITAL IN
CH2
CH3
CH4
DIGITAL IN
EFFECT RETURN
MIC1
MIC2
LINE
CD/LINE
CH1
PHONO 1
PHONO 2
PHONO 3
CH4
L
R/MONO
PHONO EQ
DAI Receiver
DAC
CD/LINE LINE PHONO CH1-CH4
TRIM CH1-CH4
HIGH/ MID/LOW CH1-CH4
L/R SPLIT ON/OFF
CUE ON/OFF
CHANGE PHASE (EFFECT)
C.FADER NORMAL/REV.
C.FADER CURVE TYPE
C.FADER ASSIGN A/B
CROSS FADER
NORMAL/REV. CH1-CH4
CH FADER CH1-CH4
MICRO COMPUTER
L/R PLAY MODE ASSIGN
V.C.A AMP
FADER START CH1,CH4
RETURN
MIC LEVEL
LOW
HIGH
MIC EQ
MIC AMP
OFF
ON
SEPARATE OUT ON/OFF
CUE MIX
MASTER MIX
MONITOR MIX
Master-Lch/ Cue-mix
Cue-Lch
Master-Rch
Cue-Rch/ Master-mix
MIX LEVEL
STEREO
MONO SPLIT
MONITOR LEVEL
MONITOR IN
OUTPUT LEVEL METER
L IN
R IN
DAI Trans.
Pulse trans.
ADC
FRONT MIXER
REAR MIXER
L ch
R ch
MASTER BAL.
MASTER LEVEL
BAL. AMP
EFFECT POST
EFFECT PRE
ANALOG SWITCH
CHANGE PHASE
EFFECT MIX
SEND
EFFECT PRE/POST
EFFECT ON/OFF
※ SEPARATE OUT ON:
MASTER OUT1: CH1/CH2
MASTER OUT2: CH3/CH4
※ SEPARATE OUT OFF:
MASTER OUT1: CH1/CH2/CH3/CH4
MASTER OUT2: NO OUTPUT
MONITOR OUT
PHONES
DIGITAL OUT
REC OUT
MASTER OUT 1 (FRONT)
MASTER OUT 2 (REAR)
MASTER OUT 1 (XLR) (BAL.OUT)
PLAYER CONTROL
EFFECT SEND

主な仕様／お手入れ

主な仕様

■入力感度／入力インピーダンス

PHONO（TRIM center）	2.5 mV/47 kΩ
LINE（TRIM center）	250 mV/10 kΩ
EFFECT RETURN	250 mV/47 kΩ
MIC	0.7 mV/1 kΩ

■定格出力電圧／出力インピーダンス

MASTER 1、2 (RCA)	1 V/600 Ω
MASTER 1（XLR）	1 V/600 Ω
MONITOR	1 V/1 kΩ
REC OUT	250 mV/1 kΩ
EFFECT SEND	250 mV/1 kΩ

■ヘッドホン出力　30 mW/32 Ω

■周波数特性

MASTER 1、2	20 Hz ～20 kHz
REC OUT	20 Hz ～20 kHz
EFFECT RETURN	20 Hz ～20 kHz
MIC	20 Hz ～20 kHz

■デジタルオーディオ入力

同軸デジタル入力

対応サンプリング周波数

48 kHz/44.1 kHz/32 kHz（PCM）

■デジタルオーディオ出力

同軸デジタル出力

サンプリング周波数　44.1 kHz（PCM）

■イコライザー特性

CD/LINE/PHONO

LOW	＋12 dB, －24 dB(50 Hz)
MID	＋12 dB, －24 dB(1 kHz)
HIGH	＋12 dB, －24 dB(10 kHz)

MIC

LOW	＋12 dB, －24 dB(100 Hz)
HIGH	＋12 dB, －24 dB(10 kHz)

■総合

電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	30 W
寸法(幅×高さ×奥行)	300 mm×103 mm×330 mm
質量	約 5.3 kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグがはずれていませんか。	確実に差し込む。	9
電源を入れても音が出ない。音が小さい。	入力切換つまみを他のソースにしていませんか。	入力ソースを確かめ、正しい位置にする。	10
	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。	8〜9
	マスターレベルほか、各音量のつまみがMINになっていませんか。	各音量つまみを正しく調節する。	10〜11
左右の音が逆になる。	各機器の左（L）、右（R）端子が逆に接続されていませんか。	正しく接続する。	8〜9
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	–
	ターンテーブルのアース線が外れていませんか。	アース線を正しく接続する。	9
フェーダー（スライドボリューム）の動きが悪い。	フェーダーが消耗していませんか。	新しいフェーダーと交換する。販売店にご相談ください。	11
音が歪む。	マスターレベルまたはモニターレベルを上げすぎていませんか。	MASTER LEVELまたはMONITOR LEVELつまみを調節する。	10、12
	入力レベルが高すぎませんか。	TRIMつまみを回し、下げる。	10
外部エフェクターの音が歪む。	エフェクターからの入力レベルが高すぎませんか。	SENDまたはRETURNつまみを回し、下げる。	12
エフェクトが効かない。	エフェクト接続切換つまみがOFFになっていませんか。	使用チャンネルのエフェクト接続切換つまみをONにする。	12
フェーダーの動作が逆になる。	フェーダー操作切換つまみがREVERSEになっていませんか。	NORMAL側にする。	10
クロスフェードができない。	アサイン A、B選択つまみの設定が間違っていませんか。	A、Bに割り当てる入力ソースを選ぶ。	10
ダイレクトドライブ デジタルターンテーブルをフェーダーでスタートできない。	フェーダースタート切換つまみがOFFになっていませんか。	使用チャンネルのフェーダースタート切換つまみをONにする。	14
	ミニコードを接続していますか。	コードを正しく接続する。	9
セパレート出力しない。	セパレートアウト切換つまみがOFFになっていませんか。	セパレートアウト切換つまみをONにする。	13

保証とアフターサービス

修理·お取り扱い·お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日·販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、DJ ミキサーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

17ページの表「故障かな!？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断·故障個所の修理および部品交換·調整·修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	DJ ミキサー
品　番	SH-MZ1200
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、テクニクス製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

さくいん

別売り品のご紹介（2004年4月現在のものです。品番は変更されることがあります。）

- ダイレクトドライブ デジタルターンテーブル ：SL-DZ1200
- レコードプレーヤー ：SL-1200MK5 / SL-1200MK5G
- アンプ ：SE-A1010
- マイク ：RP-VK120
- ヘッドホン ：RP-DH1200/RP-DJ1200
- ステレオピンコード ：RP-CAP3G10（1.0 m）
- ピンコード（RCA同軸）：RP-CVPOG20（2.0 m）
- ミニコード ：RP-CAM3G15（1.5 m）

愛情点検 長年ご使用のDJ ミキサーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SH-MZ1200
販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　）　－	

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）
All Rights Reserved.

RQT7229-2S
M0404TK2025